



幼稚園だより 2月号

令和5年1月31日

中央区立豊海幼稚園 03 (3533) 0725

H P <http://www.chuo-ky.ed.jp/~toyomi-kg/>

教育目標

- げんきな子
- やさしい子
- がんばれる子

＜身近な自然との関わりを通して、幼児の豊かな経験を育む＞

園長 山口 晃司

2月です。節分を迎え、暦の上では春ですね。節分は「邪気を払い無病息災を願う行事」としていにしえより行われています。幼稚園では、日本の伝統的な行事に親しむことをねらい、各学年の発達に合わせて、鬼の面を作ったり、グループで共同製作したりして節分を楽しみます。豆まきをして、鬼を追い払うように新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが収束することを願うばかりです。

さて、本園では今年度は園内研究のテーマを「幼児が主体的に遊ぶ楽しさを感じるための指導の工夫～身近な自然との関わりを通して」と設定し研究を進めています。研究保育日は、自然との関わりに関して造詣が深い外部講師からご指導いただき、園庭の自然観察をしたり、葉っぱを使って遊んだりして、幼児の自然体験の機会と指導方法の充実を図りました。先日の年少組3歳児の研究保育では、普段遊んでいる「豊海ワールド（ピオトープ）」を講師の先生と散策したのですが、「樹木の下（地面）に落ちているモノ（フン）があるのは、ここにたくさんの鳥が来ている証し」とお話を伺っていたところ、子どもたちがふと上を見上げて、「あれは何だ」と鳥の巣を発見しました。講師の先生から「よく見付けたね。ここで子育てをしていたんだね」と話を聞くと、「あっちにもあったよ」と別の樹木を指さす子どももいました。園長の私自身、普段子どもたちと遊んでいる場でしたが、全く気付かなかつたです。園内の身近な環境が生き物の集まる素敵な場であり、教育的価値があることを再認識しました。この間の猛烈な寒波で寒かった日は、池の水が凍り、びっしりと霜柱がたっていました。そこに気付いた年長組が、自分たちでカラフルな氷を作ろうと、絵の具で着色した色水を、氷ができそうな場所を選び置いていました。他学年にも池に氷が張っていること、それを割って取ったものを見せて知らせていました。翌日は、自分たちが置いた色水が見事に凍り、カラー氷ができたことをとても喜び、同じように他学年にも見せて回っている姿がありました。これらの子どもたちの姿は、幼稚園教育要領に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の具体的な姿が現れていると実感しています。都心の真ん中でも、意識をしてみると子どもたちにとっての豊かな体験が様々にできる本園の環境を、今後も最大限に活用していきたいと思えます。

2月に入ると、修了式まで登園する日数が1日から数えて31日です。年少・年中組も終業式まで35日です。1年のまとめをして、進学、進級へとつなげていきます。子供たちが毎日元気に登園することを願っています。ご家族皆様の体調管理等、よろしくお願ひします。

＜各学年のねらいと主な活動＞

年少組	年中組	年長組
<ul style="list-style-type: none"> ○生活の中で次にすることが分かり、自分でやってみようとする。 ○同じようなイメージをもち、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○教師や学級のみなどと一緒に自分なりに伸び伸びと表現することを楽しむ。 <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・触れ合い遊び ・雛人形作り ・リズム「おにのパンツ」 ・歌「雪だるまのチャチャチャ」 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いや考えを伝えながら、共に遊びや生活を進めていこうとする。 ○年長になることを楽しみにしながら、学級のみんなと相談したり、年長児に教えてもらったりし、行事や生活を進めていく。 ○役になりきって動いたり友達と動きや言葉を合わせたりして、劇遊びを楽しむ。 <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助け鬼 ・雛人形作り ・当番活動の引き継ぎ ・お別れ会に向けた活動 ・歌「北風小僧の寒太郎」 	<ul style="list-style-type: none"> ○修了までの見通しをもち、自分たちで生活を進めたり、積極的に課題に取り組んだりする。 ○遊びや生活の中で互いの成長を感じながら、友達とのつながりを深める。 ○共通のイメージの中で学級やグループの友達と考えを出し合い活動を進め、役になりきったり、自分の力を発揮したりして、やり遂げた喜びや達成感を味わう。 <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短縄 ・鬼遊び ・雛人形作り ・当番活動の引き継ぎ ・修了に向けての歌と言葉

